

令和 6 年度岡山県立玉島商業高等学校 第 1 回学校運営協議会 議事録

日 時：令和 6 年 6 月 7 日（金）14:00～16:00

場 所：会議室（管理棟 2 階）

出席者：9 名（委員 11 名中）

1 開 会 （任命書机上配布）

（1）校長挨拶

学校運営協議会導入経緯説明

（2）学校運営協議会委員 自己紹介

2 学校運営協議会について

（1）学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度について

（2）岡山県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則について

3 会長、副会長選出および挨拶

4 自校の現状と課題

（1）令和 6 年度の教育活動について

①令和 5 年度の振り返りと令和 6 年度の経営目標根拠

- ・玉島商業高校を取り巻く現状
- ・令和 7 年度全国募集の実施

②学校経営計画書（内外環境分析結果、長期・中期・短期ビジョン）について

- ・スクールミッション（長期ビジョン）
- ・内外環境分析結果は教職員や地域の方からの聞き取りをまとめたもの
- ・重点目標（中期ビジョン）
- ・本年度具体的施策（短期ビジョン）

スクールミッションと重点目標、また、スクールポリシーについては、保護者、生徒、中学校、役所、大学等から意見を聞いて決定したもの。令和 8 年度の 100 周年までは現状のままで進めていきたい。

【今年度重点取組】

- ・教師力をアップし学習活動や部活動、ホームルーム活動など、生徒の成長が実感できる環境を整える。
- ・成長が実感できるキャリア・パスポートの活用と将来を見据えたキャリア教育を充実させる。
- ・創立 100 周年を迎えるにあたり、学校全体が新たな目標に向かい前進する環境をつくる。

（2）令和 6 年度学校評価書等

（3）令和 6 年度スクールポリシーの承認と次年度の方向性

（4）教科書の選定に関する方向性や観点について

5 意見交換

委員 A

玉井堂と玉島商業がコラボして、北前船どら焼きを販売。今後も高校生に毎月第2日曜日に実施している朝市に参加してアンケートをとり、分析していただき新たな提案をしてもらえるようにできないかと考えている。単年度の取組ではなく、3年間での取組として考えてもらいたい。

例えば、商店街の中の店舗経営の実施（仕入、売上、決算まで）。活きている店舗を経営することで、どう売ればいいかを考えながら店舗を運営してほしい。毎日難しいので週末だけの実施。これを単年度で終わらせず、1年生から3年生まで役割分担しながら続けてほしい。それが大人になるための経験につながる。メディアにもお店を取り上げてもらい、玉島商業高校をPRしてほしい。

委員 B

玉島には複数の高校（玉島高校・市立玉島高校（霞丘）・作陽高校）があり、うまく交流ができたらいいいのではないかな。

委員 C

昨年の生徒たちが取り組んだ北前船どら焼きの販売について、今年の3年生が発表を聞き、それをどう活かすかをアンケートを通じて改善策を練っている。このプロジェクトは広がりを見せており、商店会の運営や朝市に関するアドバイスも今後相談していきたい。

委員 A

日頃の朝市に商業の生徒が制服を着て販売することで、来場者やお客さんに対して「頑張っている」という印象を与え、応援したいという気持ちを引き出しているのではないかな。

委員 C

先日の朝市でアンケートを取ったところ、購入者の多くが「高校生を応援したい」という理由で購入していたことが分かりました。しかし、生徒自身はその点に気づいていない。生徒たちに「あなたが売っているから嬉しい」ということを伝えたい。

委員 D

教室で学んだ知識を、実際に店舗経営で実践する。とても魅力的である。また、3年生だけでなく複数年度の取組とすることは商業高校での課題でもある。できるだけ多くの生徒が関われる仕組み作りが大切。

地域が学校を支えていることに感謝しつつ、理想的な教育の実践場を提案されることは素晴らしいと感じた。学校の学びとの関連や、学校の多様な活動の背景についても興味を持った。また、全国募集の情報発信が将来的に地域の生徒減少対策として重要だと感じている。理想的な環境を地域と協力して作り、先生方と生徒が自主的に取り組む仕組みを整えることが大切。他では実現できないような取り組みが多く、これをどう周囲と連携して進めるかが今後の課題だと感じた。

委員 E

P T Aの立場でも保護者に関わってもらいたい。実現した場合には、周年行事のために積み立てていき、生徒へ還元できれば良いのではないかと考える。

玉島商業には素晴らしい実績を持たれた部活動の顧問の先生がいる。そういったことを周知することによって玉島商業を希望する生徒も増えるのではないか。

委員 F

こういった取組を外部で発表する機会を設ける。高校生の地域での生き生きとした取組が、中学生の刺激になる。玉島商業へ行きたくなる生徒が増えるのではないか。

地域で活躍できる場、地域で育ててもらうことが大事なこと。また、中学生が高校生と一緒に地域の中で活動できる場面が増えてくると将来の進路選択にもつながる。

委員 G

店舗経営を実践することで、校長が進める特別活動を軸に学校経営を行うことができるのではないか。生徒が活躍できる場の提供。高校生による S N Sでの情報発信。

委員 H

商店街での店舗運営を是非実現して欲しい。できるだけ楽しい取組を実施し、玉島の日本遺産を絡めて行って欲しい。

委員 I

学校として生徒自身が得意な部分を活かして活躍できる場を提供したい。学んでいることが社会で役立っているということにも気づかせたい。そんな仕掛けを実践し、学ばせることで生徒の進路実現にもつなげていきたい。

先生方や生徒も放課後等は部活動で忙しいため、地域での活動では教員の引率なしで地域の方々に面倒を見ていただくような人的な連携も必要であると考えている。

委員 G

公民館での活動で高校生・中学生が参加する場合は、行き帰りや活動中に補償される保険を掛けたいと考えている。そうすることで、先生方に引率してもらわなくてもよく、学校側も送り出しやすいのではないと思う。大学受験において、コミュニケーション力を高める活動が重要視される時代になっている。高校生にとっても、地域での活動が将来の進路実現に繋がると分かれば、モチベーションが上がる。例えば、高校生が高齢者にスマホの使い方を教える活動は、高齢者に喜ばれるだけでなく、社会貢献や地域貢献にもなり、彼らの人生にとって大きなプラスになると思う。このような経験が進路実現以上の価値を持つと感じている。

6 連絡事項・その他

次回の日程 第2回 11月～12月の予定

7 閉会